



J O B

じよぶの日常と家づくり情報をお届けします

VOL. 119
謹賀新年

2024.01-02-03
Winter



LETTER

あけましておめでとう

家の数だけ夢がある

Job.

ARCHITECT DESIGN
&
CONSTRUCTION



HAPPY NEW YEAR

2024

株式会社じよぶ 代表取締役社長

磯山 哲也 Tetsuya Isoyama



株式会社じよぶ 代表取締役社長を拝命しております。磯山哲也です。新年あけましておめでとうございます。本年も宜しくおねがいたします。旧年中はお世話になりありがとうございました。今年も無事に乗り越えることができましたのもこのじよぶレターを読んでいただいている皆様と、たくさんの人たちのお力添えのおかげであります。この場をお借りし、皆さまに感謝を申し上げます。昨年「アレ」ですね。コロナ終焉。5月にコロナが5類に移行され事実上終息となりました初めて、コロナが発見されたのが今からちょうど4年前の2019年12月武漢で初めて感染者が出て数か月でパンデミックと言われる世界的な流行になりました(クルーズ船とかありましたね)。その後じわじわ住宅業界にも影響が始めました。半導体不足の機器未納問題、ウッドショックや次から次の建材・住設機器など、ありとあらゆるものの値上げ合戦。合わせてウクライナ危機に依る情勢不安。正直こんな状態で家づくりを考えると難しい状況でした。そんな中でもじよぶを信頼し、家づくりをしていただいた皆様に於きましては、改めて心から感謝いたします。そして今回の事実上のコロナの終息。まだまだ若干の高止まり感があります

が、価格上昇も少しづつ取まって、リアルでイベントもできようやくお客様のご来場も増えてきました。「性能とデザインの両立」をコンセプトにこれからもどんどんじよぶの家、幸せな暮らしを提供できるように頑張っ参ります。今年じよぶは創業27年を迎えます。そしてその後3年で30周年の節目となります。私も、二代目社長を拝命させて頂き12年になります。同様に15年の節目となります。創業当初、今のような受注はなく、家の溝掃除・屋根の防水トップコート塗りなどなんでも屋さんみたいな仕事に始まり、ホームセンターの下請けリフォームや、不動産屋さんの建売の請負や、知合いの工務店の下請けなどばかりで、自分たちで契約なんか夢のまた夢と思っていました。でも何とか直接お客様との新築の契約を一棟でも契約して頂きたいということが心からの夢でした。今、これから大きな節目を迎えるにあたり、改めて創業当初の一棟一棟のお客様を大切に、心から感謝していた初心に立戻り、揺るぎのない30周年を迎えることができる会社になっていきます。まだまだ、未熟な組織・メンバーではありますが、これからもスタッフみんなで力を合わせて、日々努力してまいります。今後とも何卒ご指導、ご鞭撻の程よろしく願い致します。

本年もじよぶを宜しくお願い致します！

企画設計室／総務

杉村 綾香 Ayaka Sugimura



新年あけましておめでとうございます。昨年は大変お世話になりました。2023年は設計に加え、総務の業務をするようになり吸収するばかりでばたばたしていた一年でしたが、2024年はプラスアルファを心がけて更に精進していきたいと思います。またイベントも完全復活となりましたので、より多くのお客様に会えるのを楽しみにしております！本年もどうぞよろしく願いいたします。皆様にとって良い一年となりますように！

工事部 リーダー／アフターメンテナンス

仲西 健治 Kenji Nakanishi



新年、あけましておめでとうございます。本年も宜しく願い致します。昨年の6月からですが、メンテナンスを担当させて頂いております。不慣れな点があり、スムーズに出来なかった事を反省し、向上して行きます。今年、OB様・お客様の声を真摯に受け止め、現場監督時代の知識・経験を活かし、不安を払拭して頂ける様、迅速に適切な対応を心掛けて行きます。『安心して頂く』をモットーに、日々邁進して行きます。関わる全ての人が、良いお年を過ごせます様、祈念致します。

工事部

壺内 慎士 Makishi Tsubouchi



新年明けましておめでとうございます。旧年は、監督として多くの現場に携わらせていただきました。一つ一つの建物にドラマがあり、お客様に無事にお引渡しできた際には喜びと担当させていただけた感謝を感じる年になりました。これからも現場を任せいただけるように精進し、お客様にお喜びいただけるように現場運営に努めてまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。本年も皆様にとって良い年となりますように。

工事部／制作

矢木 圭介 Keisuke Yagi



あけましておめでとうございます！昨年は一時期、連続してちょっとした怪我などに見舞われ改めて周囲の状況確認の大切さを思い直す一年となりました。本年は物事を着実にこなし、丁寧に取り組んで一日一日を積み上げていくような一年にしたいと思っております。またお引き渡し後のお施主様の満足につながるよう安心して安全な現場進行のサポートが出来るように努めてまいります。皆様にとって本年が実り多く、幸せな一年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

工事部・アフターメンテナンスサポート

雑賀 久瑠美 Kurumi Saika



新年明けましておめでとうございます。旧年は、自分を見つめ直す1年となりました。本年は、その学びを十分に活かし、実のある1年にしたいと思います！仕事では、今の業務以外にも挑戦していきパワーアップした姿をお見せできるように精進してまいります。また皆様とイベント等でお会いできることを楽しみにしております。幸多き1年となりますように。心よりお祈りいたします。

経理

秋山 純一郎 Junichiro Akiyama



謹んで新年のお慶びを申し上げます。じよぶにお世話になり早一年半が過ぎました。昨年は一年を通して経理業務だけでなく会社行事にも参加させていただき、振返ると学びの多い一年になりました。本年におきましては信頼される経理部を目指し、真を貫き、より一層会社の発展に寄与してまいりますので何卒宜しく願い致します。皆様にとってより良い一年となりますように。

株式会社じよぶ 会長

佐藤 福男 Fukuo Sato



新年あけましておめでとうございます。年の初めは、いかにお過ごしでしょうか？毎年、子たちも成長し、お正月の過ごし方も年々変わっていきませんが、変わらないものがあります。神社への初詣、一年の計は元旦にありと年の初めに今年はどうありたいと計を立てます。月の始まりの一日。週の始まりの日。そして一日の始まりの朝。それぞれ、始まりの日に計を立てていくと随分と一年が変わっていくものです。どうぞ今年こそは、一年の計がそのまま立ち消えることなくこの年の終わりに振り返り、いい一年だったな〜と誇らしげに成長した自分を褒めてあげてください。善き年になりますように！

常務取締役
栗野 洋志 Hiroshi Kurino



新年あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。本年も宜しく願い申し上げます。コロナも第五類に引き下げられ、昨年以上に皆様とお会いできる機会も増えていくことと思いにしております。また来年の法改正、省エネ標準化に向けてやるべきことが沢山ありますが、皆様により良いご提案が出来るように、社員一丸となって取り組んでまいります。感染対策等、くれぐれも体調にはお気をつけ下さい。皆様にとって今年一年、昇り龍のごとく良い年となりますように。

企画営業室 チーフ
山本 仁美 Hitomi Yamamoto



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかに新春を迎えられたこと、お慶び申し上げます。昨年は、じよぶの感謝祭も復活し、久しぶりにOB様の皆様とお会いできたことで、心が躍る一年でした。本年も、沢山のご家族に愛される工務店であり続けよう、ご家族らしき溢れる家づくりを目指して、より一層励んで参りますので、本年もよろしく願いいたします。皆様にとって幸多き年となりますようにお祈り申し上げます。

企画営業室
上峠 綸桜 Rion Kamitouge



新年あけましておめでとうございます。昨年は1人で挑戦する。という事が沢山あり自分自身にとってとても成長する機会を頂いた年になりました。また、沢山の方との出会いがありとても幸せな1年となりました。本年は今までよりも成長した自分で皆様と楽しい笑顔溢れるお家造りを目指してがんばります！また引き続き沢山のお客様のサポートをさせていただきます！本年も皆様にとって良い1年となりますように。どうぞよろしく願いいたします！

企画設計室 チーフ
志野 千尋 Chihiro Shino



あけましておめでとうございます！昨年はようやくコロナがあげ、久々にOB様や友人や仲間と会うことができて、改めて人との繋がりに感謝した一年でした。今年は、新しいニーズ・脱炭素に貢献できるよう、じよぶの家の性能強化に取り組んでいきたいと思っております！皆様にとって素敵な一年となりますように！

企画設計室
橋本 晃大 Kouta Hashimoto



謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年はガラッと私生活が変わる年となりました。改めて自分の好きな暮らし、自分の嫌いな暮らしを見つめ直す良い一年となりました。これからも学ぶ姿勢を忘れず、お客様の夢を叶える仕事ができていることに誇りをもって、より一層、日々精進して参ります。何卒よろしく願い致します。皆さまにとってより良い一年となりますように。

企画設計室
小俣 結也 Yuuya Omata



謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年は様々な環境の変化に順応することに必死で、自分の強みと弱みを見つめ直す一年となりました。至らなかった部分を真摯に受け止め改善し、強みを活かした前向きな姿勢で家づくりに掛ける思いを皆様にお伝えできるよう、本年も精進したいと思います。何卒よろしく願い致します。皆さまにとってより良い一年になりますことを願っております。

企画設計室 チーフ
橋本 知佳 Chika Hashimoto



育児休暇中

工事部
半田 瑞季 Mizuki Handa



育児休暇中



じよぶの家が出来るまでには、いろんな工程でたくさんの職人さんが携わっています。「Lasissaのつくり手」では、じよぶの家づくりを支える職人さんや協力会社さんに仕事や家づくりに対する想いを伺います。

Q.仕事内容を教えてください。
建物の解体工事です！建物の規模は色々ありますが一戸建てから大規模なビルや店舗やマンションのお部屋など色々ですね。既存の建物を解体し、廃材の撤去を行い更地にします。店舗の場合は内装の改修撤去工事を請負させて頂いています。今日ですと同僚をまとめる役もやらせてもらっています。

Q.この業界に入ったのはいつですか？きっかけも聞かせて下さい。
三年ちょっと前ですね。今までは中古自動車販売の営業マンしていました。きっかけは自分のところの社長が奥さんと知り合いでして、そこで人手不足なのでうちに来てくれないか。と誘わたのがきっかけですね。

Q.中古車販売から解体業に転職したんですね。
そうですね。中古車販売が規模縮小で退職者を募っていたので、その兼ね合いもあり思い切って転職しました。

Q.じよぶとの仕事はどう感じられていますか？
うち(株式会社政基実業)はHIRAYAMA(同じく解体業)経由で仕事を頂いています。そこで今だと物件数はまだ少ないですが、職人主体で作業させて貰っているので、自分としてはやりやすいです。

Q.解体業をされていて、楽しいところや難しいと思うところはありますか？
やっぱり予定していた工期より、段取りよく進んで早く終わったときは、働いていて気持ちいいですね。難しいのはその逆で、思ったより解体する物量が多かったりしたときは、手強いというか進みが悪かったりすることもあります。

Q.仕事のやりがいを感じる時はどんな時ですか？
解体していく上で人夫さんや道具、重機等を導入して、段取り組んで、それがスムーズに進んでいくと自分としても面白いですし、やり甲斐感じます。

Q.これからの仕事に対する想いや、じよぶの家づくりに携わっている点で、意気込みなどをお聞かせください。
今は解体するにしても単純に壊すだけというだけじゃなくて、資格が必要なので、それらを取得して色々な建物を解体出来るようになっていければと思います。

Q.藤原さんにとっての職人・プロとはどんな人ですか？
しっかり計画して段取りして、それを確実に、安全に進められる人がプロだと思います！

▶ 工程別 解体 工事



解体屋さん
株式会社政基実業
藤原 誠さん
インタビューを終えて
藤原さんは解体屋さんとして現場でお会いしたのはまだ二軒目。もと中古車販売の営業さんだけあって、人柄は明朗で親しみやすい方で今回のインタビューも快く応じてくださいました！



◀インタビュー当日はお施主様の裏手にある納屋を解体して欲しいというご依頼でした。翌日に現場を確認しにいくと納屋は綺麗サッパリなくなっていました。(´o´)／



長野県松本市／
松本城
經理 秋山 純一郎

今回、私が紹介する「好きな建物」は長野県松本市にある「国宝 松本城」です。松本市は長野県の中信地方に位置する市で松本城はJR篠ノ井線松本駅から徒歩20分ぐらいのところであり、白漆喰と黒漆で塗り分けた二色の外壁が特徴で現存12天守、国宝5城のひとつに数えられています。ちなみに残り国宝の城は姫路城、彦根城、犬山城、松江城です。また、松本城の特徴として戦国時代に建てられた戦うための黒い堅固な天守と平和な時代(江戸時代)に

なって作られた優雅な辰巳附櫓と月見櫓、外から見れば5階建てに見える内部的には6階造りになっている点です。景色はお濠の映るお城、城の後ろに広がる幸が残った北アルプス山脈、広がる空の青が最高です。歴史的にも約400年築えてきたこともあり貴重な史跡も数多く存在しています。お城以外のお勧めは松本時計博物館、旧閑智学校校舎、中町通りです。旧閑智学校校舎は和洋瀬中のデザインで「擬洋風建築」の代表とされています。中町通りはなまこ壁の建物が多いことで有名です。最後に食べ物やはりそばがおいしかったです。地酒も。興味がある方は一度行ってみてください。



人生はこれから始まる
人は自分の知っている世界で生きています。知らない世界は居心地が悪く、不安定だからです。自分が知らないことは、何も無いところで生きるのが楽です。それは人に対しても同じです。自分は相手のことをよく知っている。よく理解していると。家族においてはより一層、そういった思い込みを持っています。あなたは十分に理解できているのでしょうか？
でも、理解できていないことは決して悪いことではありません。むしろ、すべてを理解することなど不可能であり、理解を深め合うそのプロセスが大切であり、それがお互いの成長のプロセスとなるのです。人は日々成長し、常に生まれ変わっているのです。あなたもです。分かっているようでまだ理解していないことはまだまだたくさんあります。そして、何より、自分のことを本当に理解していないのかも知れません。自分の可能性、自分の才能、



自分の情熱。もっともっと自分と話し合ってみてください。い。もっともっと自分の心を知ってあげてください。無限の可能性を持っている自分と。自己理解ができてこそ、他者理解ができるようになります。さらなる成長を掲げて今年一年を日々、楽しみ、学びをしていきましょう！
人生はこれから始まる。